

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月 1日 更新

事務事業名		男女共同参画推進行動計画進行管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	建岡純雄
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	総務課	担当者名	飯開輝久雄
	基本事業	75	男女共同参画推進活動の実践			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1218
予算科目		会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 19 ~ 23 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	策定された男女共同参画推進行動計画を管理する。・平成19年3月に、男女共同参画社会基本法に基づき、旧合志町、旧西合志町の行動計画をたたき台にして策定された。・平成19年9月に合志市男女共同参画まちづくり条例が制定され、それに基づき行動計画を策定することとなった。
【業務の流れ】	①ワーキンググループに進行状況の確認を文書で提出してもらい、できたことできなかったことを確認、②あがってきた成果と課題を男女共同参画推進幹事会で確認、③男女共同参画推進委員会で確認し、次年度に活かしていく。
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・特に聞いていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
・男女共同参画推進行動計画の進捗状況を各担当で確認してもらい、報告書に記載し、年次報告書を作成した。また、平成24年度から第2期男女共同参画行動計画が始まるため、その基礎資料にするため、男女共同参画に関する市民意識調査を実施した。		・第2期男女共同参画行動計画の内容を、男女共同参画幹事会及びワーキンググループで検討する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 進捗状況確認会議数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・行動計画	→ ア: 行動計画数	冊
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・各課の業務が、男女共同参画の視点で活かしている。	→ ア: 検討項目数	項目
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
各課の業務が男女共同参画の視点で活かしているかがこの事業の意図であるので、男女共同参画行動計画の検討項目数により活動の大きさを把握できるので成果指標とした。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	0	0	0	0
② 対象指標	ア	冊	1	1	1	0	0	0	0
③ 成果指標	ア	項目	70	70	70	0	0	0	0
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	6	4	3	4	0
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	292	250	292	115	292	0	
	(B)人件費計	千円	1,168	995	1,162	473	1,203	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,168	995	1,162	473	1,203	0	

総トータルコスト  
全体計画  
~23年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	男女共同参画推進行動計画進行管理事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 各課等の業務がいかに男女共同参画の視点で取り組まれるかが重要である。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・年に数回、ワーキンググループ、男女共同参画推進幹事会、男女共同参画推進委員会を開催し、課題や成果を取り上げ、より良い成果の向上につなげる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・類似の目的を持つ事務事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・人件費のみ
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務しか行っていないため、削減の余地なし。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・合志市全業務に対応しているため、受益の機会は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の責務として策定しなければならない

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

男女共同参画推進行動計画年次報告書を作成したが、今後も各課等が男女共同参画についての重要性を認識し、事業にあたっていくことが必要である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						